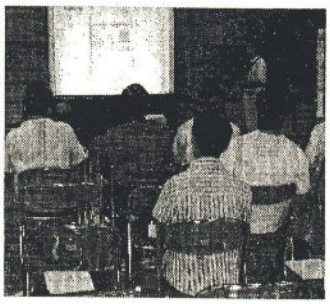
田迎小分離新設校の説明会実施さる

八月八日(土)と二十二日(土)の二回にわたり、田迎小学校の過大規模解消のための分離新設校の基本計画に関する説明会が行われた。

説明会は田迎小体育館に市職員と地元住民が集って行われた。

新設校の建設場所は馬渡二丁目七十番の予定である。

校舎は四階建の二十二教室で体育館とプールを併設するとの事である。建物はシンプルで使いやすい様に工夫するとの事であった。



なお通学区域は、馬渡一丁目、二丁目、田迎一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目の全域で出仲間一丁目の一番、二番の三十八～五十八号、三～九番、三丁目の三～六番、四丁目の十七～二十四番、八王寺町二十二番、流通団地一丁目一～五十番地、出水七丁目二十四番地との事である。なお中学校の通学区域については、従来どおり託麻中学校になっている。

現在、造成地用の予算はついたそうで、許可あり次第工事を行うとの事である。

校舎建設には順番があり、あと数年はかかる様である。

今後は地元住民の熱意が必要の様である。

説明会に参加した住民は本当に少なく、建設への熱意が足りない様に思えた。

田迎の史跡めぐり

シリーズ⑭

出端地蔵尊

二の井出に架かる田迎橋際に出端地蔵堂がある。中に祀られているのは石地蔵三体である。向かって右の地蔵は二段の台石の上に建ち安山岩製で上の台石正面に右から「天保八丁酉年」「奉寄進」「七月二十四日」と彫ってある。中央の小さな地蔵は火輪かと思われる石を逆さにしてその上に立ててある。左の地蔵は二段の台石の上に立ち、光背に「明治六年発酉五月吉日」の銘があり、頭部は半分欠けている。

上の台石には、加七、清七郎、円七らの外数名の読めない名前があり、この台石から見て、台石の方が古く仏像は後で造り直されたものと思われるが、台石も又昭和五十六年に改造され古い台石の残欠は放置されている。

〈たむかえ散歩より〉

夏まつり各町内で大盛況

八月一日(土)、田迎校区の各町内において、地域夏まつりが実施された。

一町内、二町内、三町内、五町内と各地区の公園において、七時から夏まつりが行われた。それぞれの町内での実施内容は違っていたが、盆おどりにカラオケ、ゲーム、花火など行われた。

どの町内でも大盛況であった。

三町内では、子どもによるバザー、屋台などが出店され、店で買ったビールやジュース等で盛り上がり、住民参加のゲーム、おどりで大盛況になった。一年に一回、顔を合せる者もあって、住民の親睦を図る場所として、役に立った様である。

高齢者の交通事故をなくそう

八月二十六日(水)、午前九時三十分から十一時まで、田迎公民館に於いて、交通安全教室（歩行システム）の講習会が校区老人会主催で行われた。

現在、交通事故が増加傾向にあって、高齢者が全体の五割を占める状況である。

今回は県の交通安全協会と南警察署第一交通課の協力によって、今回の教室は行われた。

参加した会員は四十名程で、高本校区安全協会長の開会の挨拶によって教室はじまった。はじめに堺巧会長の挨拶があり、南署より、事故の現状の話があった。引きつづいて、七米の横断道路をわたる体験学習会が行われた。

参加者二十名程が七米を何秒で渡れるか、それぞれ体験する。それによって自分の歩く速さを知った。

その後、40㎞、60㎞の速さで来る車を見たてて、横断道路を渡る体験もする。

各参加者に「とまと」の合言葉を教えられた。

とは止まれ、まは待て、とは飛び出さない、である。

最後にビデオを観て閉会となった。

参加者には夜間用の蛍光たすき等が配布された。今後はお互いに自分の事は自分で交通事故に注意する様にしようとの意識をもって会は終了した。

編集後記

○国宝「阿修羅」展見学会、たくさんの方の参加、ありがとうございました。おかげで、無事終了する事ができました。

○田迎小分離校問題、住民の力によって早く建設される様に努力しましょう。

○インフルエンザが流行しています。健康には充分に注意して、お暮し下さい。